


2016年4月21日

内閣総理大臣  
安倍晋三 殿

川内原発の即時停止を求めます

三重県保険医協会  
会長 渡部泰和



2015年8月11日、「原子力規制委員会が安全性を確認した原発は再稼働させる」という安倍政権の原発推進政策に従い、九州電力は川内原発一号機を再稼働させました。

原発再稼働から1年もたたない今月14日、東日本大震災を彷彿とさせる熊本地震が発生し、死者58名、重軽傷者は1,000人超、県内の避難者は9万5千人を超えており(4月20日現在)、今なお被害は拡大しています。震源域が九州全域に拡大し余震が続く中、川内原発は観測された揺れの大きさを示す最大加速度が原子炉を自動停止させる設定値を下回ったことや、被害地域からの距離が十分にあるなどを理由に安全上問題なしとして運転を続けています。九州電力は“異常なく運転”としていますが、強い震動がどのような損傷をもたらし、その蓄積がどのような影響を及ぼすのかは未調査のままです。広範囲の連続地震となってきた以上、原発直下に最大震度の地震がくることも十分に考えられます。そもそも川内原発は、避難計画が不十分で、免震棟もないままに再稼働しています。異常があってからでは遅いことは、福島第一原発事故の経験から明らかです。

最近の世論調査では、原発再稼働反対の声は6割に及び、福島第一原発事故後国民の半数以上が一貫して再稼働に反対しています。

強い余震が続く中、住民は恐怖や不安に駆られながら避難所生活を余儀なくされています。

わたしたち三重県保険医協会は、国民のいのちと健康をまもる開業医・勤務医の団体として、川内原発の稼働継続に強く抗議し、即時停止を求めます。